

【第2回】開催報告| ローカルサステナビリティの実現に向けた取り組みを学ぶ視察・体験プログラムを実施しました @福島県田村市都路

開催日程:11月23日(水)

参加人数:13名

場所:グリーンパーク都路(福島県田村市都路町)

○開催報告



この体験プログラムは、ホップジャパンがローカルサステナビリティの実現に向けた取り組みを実際に現地で体感していただき、参加者と意見を交わし共に学びながら今後の社会活動に役立てていただくことを目的として企画しました。

プログラムには地方自治体の職員や循環型ビジネスに関心のある会社員など合計13名が訪れ、代表本間の循環型ビジネスに取り組む説明に真剣に耳を傾けていました。少人数での実施により担当者との距離も近く、カジュアルに話ができる空気感で質問があれば積極的に参加者から声をかける様子が伺えました。

当日は雨天のためホップ畑や赤蕎麦畑などご案内できませんでしたが、スクリーンにて画像を交え詳しく説明、クラフトビールだけでなく循環型コンテンツに取り組むホップジャパンの背景についてお伝えしました。参加者からは「本間代表から様々な説明をいただき、色々な気づきがあった。持続可能性、地域や食材をそのまま活かすという考え方に深く共感した。(40代/男性)」などのご感想をいただきました。



その後グリーンパーク都路の敷地内で採れた赤蕎麦粉を使用したガレット作りを体験し、味や触感、クラフトビールに合う食べ方等について参加者から様々な感想をいただきました。「そばの香りがよく、はちみつも美味しかった」と参加者には大変好評でした。また田村市に移住し、菓子店出店を計画している方が試作したビール醸造の際出る麦芽の粕で作ったクラッカーの試食も行い、今後の商品化につながる有意義な時間となりました。



後半はワークショップ、「グリーンパーク都路を活用した新事業を考える」をテーマに行い、ホップジャパンで取り組んでいる事例を踏まえながら新たなビジネスアイデアについて話し合いました。ここグリーンパークの地域資源を活用した冬の誘客コンテンツが少ない現状について、冬の季節を活かしたアクティビティとして子供連れの親子を対象としたイルミネーションイベントや、全国屈指の星空環境を活用した星空観望会、またクラフトビールと食事を楽しめるツアーの開催など様々な意見が交わされました。

参加者には持続可能な地域づくりに向けた取り組みを実施・検討されている地方自治体の職員様や、これから循環型ビジネスを始めていく会社員の方などが集い、今回のイベントで出たアイデアを今後事業化したいという声も多くありました。

■参加者の声

・本間代表から様々な説明をいただき、色々な気付きがあり今後グリーンパーク都路やホップジャパンで行われていく新しいアイデアを聞くことができた。(40代/男性)

・様々なアイデア、特に子供向け、ディスクゴルフ等地元ファンを増やすアイデアが聞けて良かった。豊かな地域資源があることを知ることができた。(50代・男性)